タイトル	３．これからの社会を生きるには

ねらい 成果	これからの社会を生きるのに必要な社会人基礎力について考える。チェックをした後、説明し、チームワークの実習や、適切なコミュニケーション能力や前へ出る力を体験する簡単な情報交換ゲームをする。

	時間	ねらい／目標	活動内容／問い 【プリント】 【形態】 【手法】
1	05	前回のふりかえりをする。	【プリント】『voice』 ⑴出席を取る。 ⑵前回のワークをふりかえる。
2	15	社会人基礎力について考える。	【プリント】『社会人基礎力チェック』『社会人基礎力とはどんな力か』 ⑴社会人基礎力をチェックする。 ⑵社会人基礎力とは何かを説明する。 【手法】チェックリスト
3	30	チームワークよく力を合わせて、与えられた課題を実行する。	【形態】５人組 【プリント】『力を合わせて月面軟着陸』 ⑴５人組になり、机を合わせる。 ⑵材料を配布して、自動アームを作らせる。 ⑶第１試行のやり方を説明し、やらせる。 　・目盛を指示する。 ⑷第２試行をする。 ⑸第３試行をする。 ⑹ふりかえらせる。 ⑺チームワークの大切さを確認する。 【手法】シュミレーション
4	35	前へ出る力、コミュニケーション力を発揮して、問題を解決する。	【形態】同じ５人組 【プリント】『情報を交換して問題を解決する～オモロー村～』 ⑴３の形態のまま。 ⑵やり方、課題、ルールを説明する。

<table>
<tr><td></td><td></td><td></td><td>⑶カードを配布する。
⑷制限時間３０分で実施する。
⑸早く終わったグループは静かに待つ。
　・できなくても時間が来れば打ち切る。
⑹正解を板書する。
　・トラックを運転している人＝海野
　・北東に住んでいる人＝星川さん
　・リンゴを栽培している人＝山口さん
<table>
<tr><th></th><th>動物</th><th>乗物</th><th>果物</th><th>家</th><th>方角</th></tr>
<tr><td>山口</td><td>兎</td><td>ｵｰﾌﾟﾝｶｰ</td><td>リンゴ</td><td>牧場のある家</td><td>東の端</td></tr>
<tr><td>星川</td><td>猿</td><td>ワゴン車</td><td>ナシ</td><td>山小屋の家</td><td>北東</td></tr>
<tr><td>川田</td><td>犬</td><td>オートバイ</td><td>モモ</td><td>丸太小屋の家</td><td>北</td></tr>
<tr><td>月岡</td><td>猫</td><td>なし</td><td>ブドウ</td><td>赤レンガの家</td><td>北西</td></tr>
<tr><td>海野</td><td>鳩</td><td>トラック</td><td>クリ</td><td>木造平屋建の家</td><td>西の端</td></tr>
</table>
</td></tr>
<tr><td>5</td><td>10</td><td>実習のプロセスをふりかえり、自分の社会人基礎力について考える。</td><td>形態同じ５人組
ﾌﾟﾘﾝﾄ『オモロー村～ふりかえり～』
⑴１人でふりかえる。
　・自分の社会人基礎力を評価する。
　・グループでその力を発揮した人をピックアップする。
⑵グループで交流する。
　・グループで力を発揮した人について合意を形成する。
　・感想などを話し合う。</td></tr>
<tr><td>6</td><td>05</td><td>本時をふりかえる。</td><td>ﾌﾟﾘﾝﾄ『ふりかえりシート』
⑴本時のふりかえりを書かせる。
　★半分以上書くこと。</td></tr>
</table>

準備	『voice』『社会人基礎力チェック』『社会人基礎力とはどんな力か』『力を合わせて月面軟着陸』『情報を交換して問題を解決する～オモロー村～』『オモロー村～ふりかえり～』・紙コップ大（班の数）・紙コップ小（班の数×２）・１mの紐（人数分）・輪ゴム（班の数×２）・情報カード（班の数）・Ｂ４用紙（班の数）・キッチンタイマー

Voice

３．これからの社会を生きるには　５月１２日

生徒の満足度

満足度	１０	9	8	7	6	5	4	3	2	1
人数	7	6	4	8	0	0	0	0	0	0

生徒の感想

①「月面軟着陸」は軽くイライラした。②一人ではできないことをみんなでするということはとても大事だと思いました。③「オモロー村」は答えもスッキリ出て楽しめたのでよかった。④みんなの意見で情報を整理したりみんなで考えるのはよかったです。「月面軟着陸」は難しかったけど楽しかった。今日の授業はとてもためになったと思うし、楽しい授業でした。⑤「月面」は最終的にできなかったけど楽しかった。「オモロー」はみんなでいろいろな情報を出し合って考えて問題解決にまでたどり着いた。⑥「月面」はチームワークがとても大切なものだと改めて気づいた。⑦みんなで一つのことをするのは難しいことだと思いました。⑧みんなで協力してすることがこんなに難しいとは思わなかった。でも、楽しかったし、良い機会になった。⑨いろいろなクラスの知らない人とやったのにできたのは凄いと思いました。⑩最初は何でこんなゲームをするのかと思ったが、やってみて協力することの大切さを学べた。一人では絶対できないことだと思うし、みんなで協力できたしよかった。⑪チームワークをよくするには、一人一人の行動が重要になるから、みんなで一つのことをやるのは難しいけど楽しかった。⑫周りを見てどう動かせばいいのかと言ってリーダーシップをとる人がいて凄いと思った。⑬メンバーか余り喋ったことのない人ばっかりだったのに、情報を交換して問題を解こうと協力したのが楽しかった。⑭整理をしっかりできればと後悔した。

教師の感想

　最初の社会人基礎力の説明は生徒にとって退屈であったかもしれないが、ただ、ゲームをしてしまうのは避けたいと思い、レクチャーを意識していれました。何のためにワークをしているのかを意識してほしい。生徒の感想を見ると、チームワークの大切さに気づいてくれてる生徒が多く、少しは成果が出たかなと思った。「月面軟着陸」は成功するチームは一つもなかった。それでも、投げ出さずにトライし続けてくれた姿を評価したい。社会人基礎力の中の「実行力」、粘り強く物事に取り組む力の表れだ。「オモロー村」も正解チームはなかったが、一生懸命考えていた。それぞれの役割も自然に果たしていた。何人かの生徒の感想にもあるように、初対面の生徒と協力して作業ができたことは素晴らしいことである。そうした力を言葉にできた時に、自分の強みとして定着すると思う。